

整理番号	24003
評価対象年度	令和3年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和2年11月12日
事業担当課	市民協働推進室
担当者・内線	淵上・791721

《基本情報》

事務事業名	市民提案型協働事業実施費 「知って」「考えて」「行動する」よかまちづくり事業		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	H2 つながりあう地域社会をつくれます		
基本施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	多様な主体同士が	お互いの強みを活かした役割分担のもと、いつでも協働の手法を使って、地域課題に取り組んでいる。	
個別施策	H2-1 協働できる環境を整えます		
個別施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	多様な主体同士が	協働に対する理解を深め、意識を高めている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	長崎市はよかまちづくり基本条例(以下、「よかまち条例」とする。)を平成27年に制定したが、市民の認知度(16%(※1))は高いとは言えない。 また、市民活動に関心がある市民の割合(43.6%(※2))に対し、市民活動に参加している割合(29.5%)が低い。 (※1 R元実施 市民意識調査 ※2 H31.1実施 市政モニターアンケートより)
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	参加者(市民)が、自分たちのまちは自分たちでよくして、みんなが住みたい「よかまち」にするという、よかまち条例の理念が浸透し、実際にまちづくりの担い手として行動する。
課題(どういことをする必要のあるのか)	地域の問題を自分事として認識し活動に取り組む市民の掘り起こしを行うために、 ・よかまち条例を広め、まちづくりに参画する機運を醸成する。 ・実際に市民活動を行っている人たちの活動をしることで、市民活動を身近に感じてもらう行動するきっかけをつくる。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・ 無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

《事業の概要》

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)	よかまち条例の周知イベント及び担い手創出のための研修会を開催する。 なお、本事業は、市民活動団体から長崎市提案型協働事業の企画提案を受け、採択となった事業である。 提案団体(協働団体):もってこい長崎レクリエーショングループお手玉の会 <よかまち条例周知イベントの開催(よかまちづくりセミナー)> 1回開催 (内容)・よかまち条例について 基調講演、パネルディスカッション活動体験談、意見交換 ・実践例 お手玉の会 お手玉レクリエーション、・アトラクション (想定参加者数) 100名 (コロナ対策のため抑制した人数設定とした) (開催場所)勤労福祉会館(予定) (事業費) 574千円 <担い手創出のための研修会の開催(よかまち虹カフェ)> 2回開催 (内容)まちづくり活動に興味を持った方等を対象に、地域で市民活動をしている方とまちづくりについて意見交換をする。 (想定参加者数)1回あたり 20名 (開催場所)北部・中央部 各1回 (会場未定) (事業費)40千円
--	--

業務量の増減	増減なし(当該業務に必要な業務時間150時間は、市民協働推進事務の事業見直し分から全て充当する)					
市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input type="checkbox"/> 情報共有 <input checked="" type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働					
	本事業の提案団体をはじめ、実施に携わる関係団体等と企画から実施に至るまで、より市民に対して効果的な開催となるよう協議を行いながら実施する。					
事業期間	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)					
予算額	金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	614			614	
	総額	614			614	
	財源名称	長崎伝習所基金				
成果(活動)指標	指標(単位)	受講したことがきっかけで、実際に地域活動や市民活動に参加した人の割合(%) (既に参画している方は、受講後に別の活動に参画した人)				
	年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	目標値	100				
	成果指標及び目標値の説明	まちづくりの活動に参加する市民が増えることにより、本市が目指す長崎のまちをみんなでよくしようとする「よかまちづくり」につながるため。				

評価結果

(1)今後の事業の方向性と理由	
<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 事業規模拡大 <input type="checkbox"/> 事業規模縮小 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分
(2) 評価会議における指摘事項	
市民提案型協働事業として、よかまちづくり基本条例の周知イベント及びまちづくりの担い手創出のための研修会を開催するものである。 まちづくりに係る市民活動を、身近な例として体験することで、参加へのきっかけづくりとなることから事業の実施は適当である。 ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。	
【その他の意見】 ・よかまちづくり基本条例の認知度向上にあたっては、市民だけではなく、様々な機会を捉えて職員の意識の醸成を図ること。	